

違法配信の識別方法に関する検討 (中間報告)

2007年6月27日

社団法人日本レコード協会



1. 検討の視座

【検討の目的】

ユーザーによる違法配信の識別を容易にし、違法複製の蔓延を阻止する

検討の
アプローチ

適法配信コンテンツに対するマーク表示

適法な配信コンテンツについて、一定のマーク表示を導入・推進することにより、ユーザーが安心してコンテンツを入手できる環境を整える。

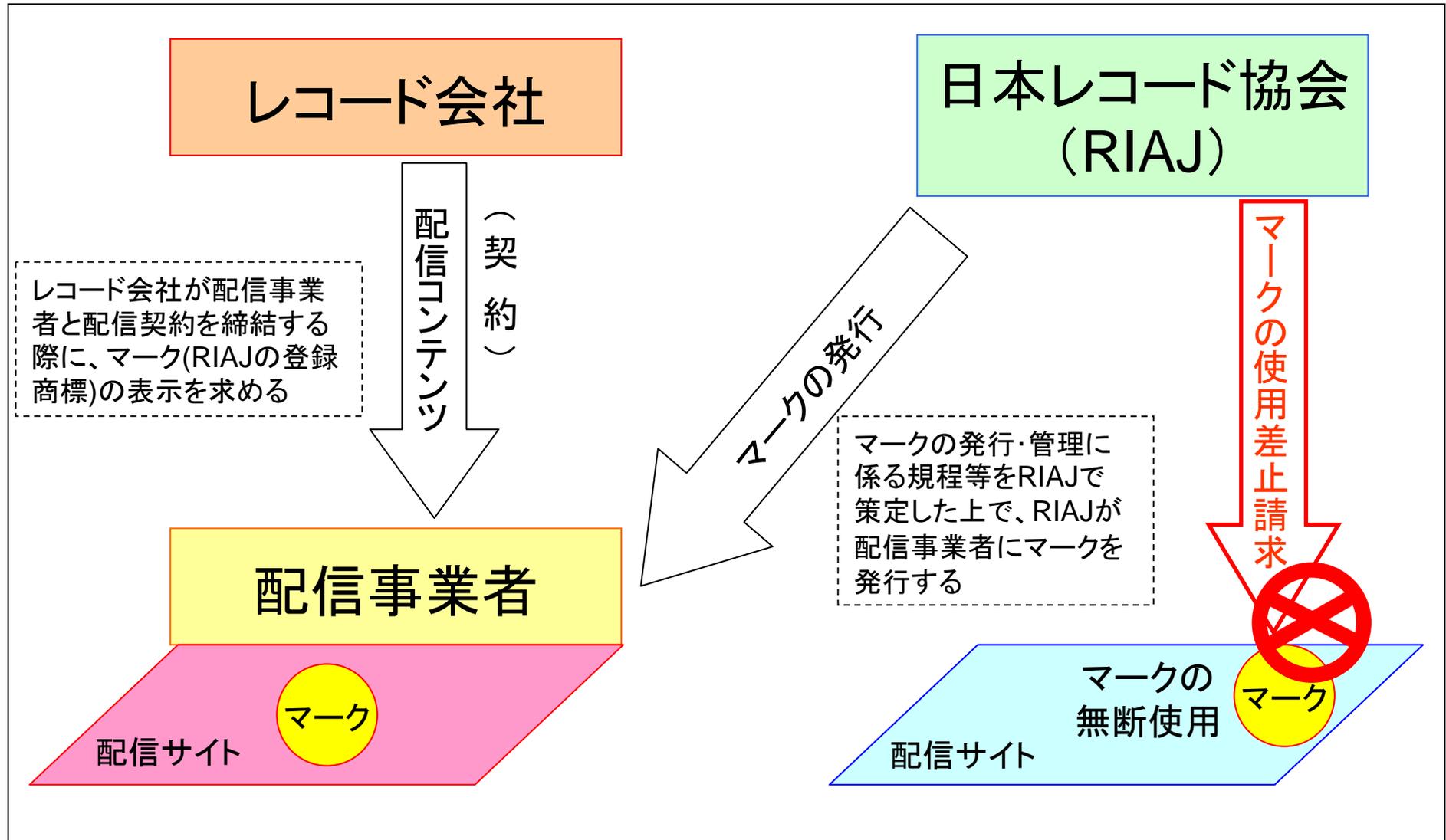
適法・違法配信の識別に関する広報・啓発活動

適法・違法配信の技術的識別

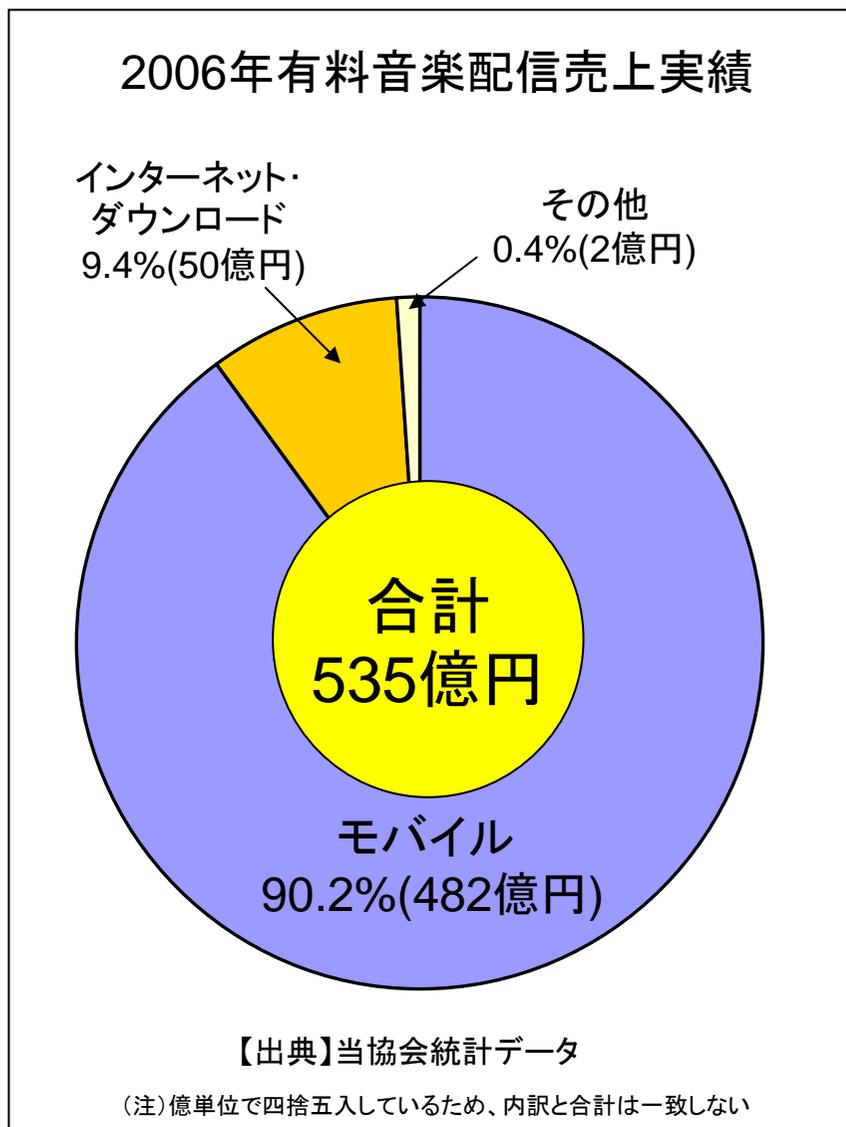
2. 適法配信コンテンツに対するマーク表示 ～レコード業界における施策(案)～

	項目	レコード業界における施策(案)の内容
1	対象コンテンツ	レコード音源・音楽ビデオ
2	対象サービス	レコード会社との契約に基づく配信サービス (PC・モバイル向けのダウンロード・ストリーム配信)
3	マークの位置づけ	レコード会社との配信契約に基づくコンテンツ提供であることの表示
4	マークのデザイン	他のコンテンツ業界にも推奨可能な汎用的なデザイン(現在、デザイン制作中)
5	マークの表示場所	配信サイトのトップページ及び 各コンテンツの購入ページ
6	その他の表示項目	マークの近傍にメッセージ・管理番号を表示 (実務運用の詳細を検討中)

3. マークの運用スキーム



4. 適法音楽配信の市場



- レコード会社との契約に基づき配信を行う事業者数は約100事業者 (推定)
- 2006年の有料音楽配信売上の90%を占めるモバイル向け配信について、レーベルモバイル・dwango等の主要事業者にマーク表示を説明し、先方も了解済み

5. 今後の取組み(予定)

